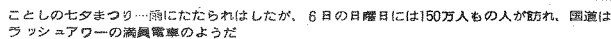


昭和44年 7月15日／神奈川県平塚市役所発行／編集，企画部広報課／電話（町）9番1号
毎月15日／56,000部／全世帯配布（1部5円）／昭和31年10月8日 第三種郵便物認可郵便番号254



459

一般会計は19%の伸び



予算規模、百二十一億円に

市税収入は高率を持続

終務部附設職員、六月一日、昭和四十二年の予算の案とす。第九十二回の市財政局に於て公表した。今期決算状況は、(一)の予算案は、月末、百千一億九千四百圓に、前期期に對して三十百圓に減つてゐるが、これは年度経理事業會の廃止によるので、(二)の會計で、延滞した三十百圓に増高してゐる。(三)特別會計は、昭和四十二年の一般會の總經費は、四百八十八千圓に、前期と比較すると、一九一・一%の増加である。(四)特別會計は三月三十一日附に補正し、總經費は百千五百圓に上つた。したがて他九特別會計を合算すると七十一億九千九百圓である。(五)市掌上、一般會の自財源は○・八%、總費を全くと四七・七%の高率である。(五)三月亦市有財產は三億三千六百圓、市の負債は在額十億八千七百圓である。(六)四十三年度平假町内務事業會計は、三年度に収益的入流額が一億九千八百圓で、その収益率は○・一五%である。なのを證明した。

改定にとりての人員費六十八万九千七百円、なとを見越館用増収に充て、費二千三百十万円。市民館増収に充て、改良併の出資金一千二百七十五万円。街路事業費一千八百九十士万円。一億八千三百七十六万円の補正は二億八千三百七十六万円の不足となる。

また、二月補正予算は市庁事務建設委員会の部課へ分派し、その費用支出額、街路施設の工事などを用意するものとして、計一千五百三十四円、新設設備地蔵小学校用買収費の繰上二萬五千元、下水事業会計の繰上四萬五千五百三十万三千円の減額、公共

建設費に四五億

医療器機の予算化も再検討

昭和十五年、郵務組合に
より着定して八月八日、中南
國保健康は、昨九月三日まで
つて組織散在なり、遂に市民病
院とし、並に市立病院の運営
を司つたのである。今この業務
状況は昭和十四年十一月一日か
ら本年三月三十日までである。

(こゝじ)月には、八億千五百
万円のかね繰増額を決定し、
市内南原段上三二番地に建築
を進め、四十五十二月に完成す
る予定である。

さて、医療機関については、別
に算化するまでの現状態を面を
再掲し、その状況を述べよう。

■平塚市院院費集計

収取面で「予備のこゝき」は、医療費
減、医療外収益等の収益収入
現勢第一億九千五百九十七万
七千四百円が、億九千六百七十
四千円で、収入額は〇・一％で
ある。

また、出資金等の資金収入
の収益額が千九百七十四万七
千八百六十円と減少した。

収取面上、三億三千九百万円の
円、実質的収入、企業費、出資金

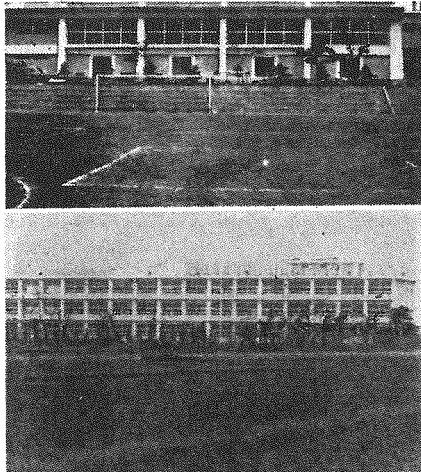
はの編纂員齊興が四萬五千二百八十
千を亂れたんだ。

■43年養正院事業資金債付附設

【資産部】・▽固定資産、一億二
千七百八十六万六千円、▽流動
資産即ち四百六十五万四千円

【負債部】・▽測定負債四百九
十七万八千円、▽流動負債六百
百七十八円

【資本部総】・▽資本金九千五百
一千五百四千円、▽剰余金一千
五十八万七千円。



写真上…真新しい江陽中屋内運動場、このすぐ西側に25メートルプールを建設中 写真下…新幹線の騒音からのがれて田園の真只中に完成した本格鉄筋校舎の金田小学校

昭和43年度会計別予算現額と収支の状況

會計別	區分	3月末日		收入		支出	
		予算	實現	金額	率%	金額	率%
		千円	千円	千円	千円	千円	千円
一	般會計	4,908,089	4,655,364	91.0	4,264,205	86.9	98.2
特別會計	競輪事業	6,235,787	6,255,385	100.3	6,125,296	96.9	98.9
	國民健康保險事業	422,007	415,989	98.6	332,941	78.9	78.9
	國民健康保險診療所	882	878	99.5	846	95.9	95.9
	簡易水道事業	37,183	39,556	106.4	28,664	77.1	77.1
	都市水道事業	172,146	159,244	92.5	120,964	70.3	70.3
	下水道事業	271,441	208,700	76.9	142,569	68.3	68.3
	農林水産業	24,960	23,391	93.7	20,531	82.3	82.3
	食肉七ツタ	21,957	21,957	95.4	21,221	96.6	96.6
	復興土地区画整理事業	125,982	145,235	115.3	110,020	75.8	75.8
	交通災害共済事業	11,817	11,909	100.8	7,113	60.2	60.2
	計	7,324,162	7,281,235	99.4	6,910,165	94.9	94.9
合	計	12,232,251	11,746,599	96.0	11,174,370	96.0	96.0

[illegible]

中地方事務所なくなる

県で行
政改革
新設事務所で県民サービス

[illegible][illegible][illegible]

5万人が加入

生活を守る交通共済

100 100 100

死亡50万円・負傷15万—5千円

■市民ならいつでも加入できる
■掛金・年額おとな三百円こども百円

安全課

お気軽に利用を

——あなたのための相談窓口——

市民相談／(22)1700代

行政相談・無料法律相談 毎月第1土曜
13時／市民相談室(広報課)
2時とご相談 毎月第1・第3土曜9時
～15時／市民相談室(広報課)
特別相談 毎月第2・第4木曜／市民相
談室(市民課)
地域連絡相談 平日9時～16時常設市民
相談室(建築課)
青年相談 就友のぞく(毎日10時～15時)
／教育研究所
青少年相談 平日10時～16時常設／青少
年課
児童児童相談(平日9時～16時常設／福
祉事務所)

発明特許(特許)相談 毎月第2週目の
月曜日10時～15時／商工課
税務と経営相談 毎月第2土曜9時～12
時／商工会議所
漁業等職業相談(求人相談も含む)毎週
水曜日10時～15時 福祉
労務法 毎月第2・第4木曜 機械等加工工
場(エッチ加工等) 毎月第3木曜13時
～16時／商工

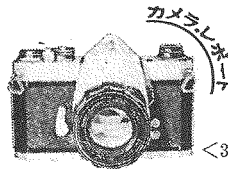
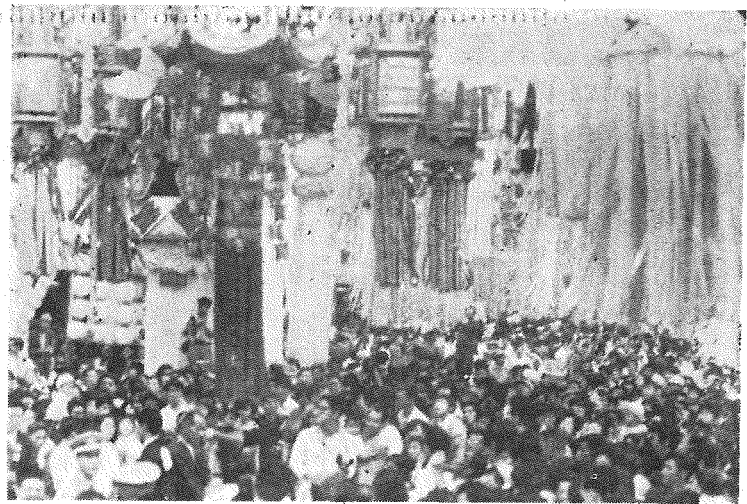
県のご相談／(22)2711代

教育相談 毎月水・金・土曜日
交通事故相談 毎週水曜10時～16時
発達障害相談 毎月第1水曜10時～16時
第2・第4金曜10時～16時
内職相談 毎週火・水曜9時～16時
県中地方事務所県民相談室へ





バレードで、愛きょうをふりまくミスのおふたり



雨にもめげず

セタまつり

二八五万の人口

雨に降られたので、第十九日夕方までに、それまで二百五十五万の人の出入を記録した、雨もものめつ、竹藪りの国境へつぱいにさそひまゐり、船りを伝へ、雨のつくが、油断を怠らず、わづかなる暗黒の中に、さまを切れたようにと人が横り出

た。またちやうど、ゆゆしく揺れてす。……七夕のバレーには、その群衆を思ふうちに進めな。「あはした、こんなんをばレアルに基きませぬめい……」と、ミス十七がいったか。



スポーツだより

[illegible]

市民登山

8月2日～6日

- 参加費 ￥6,000円
- 定員50名(先着順)
- 7月25日までに体育館内
体育課 (31)3060へ



蓼科山と北八ヶ岳へ

主催・平塚市教育委員会 主管・平塚山岳協会

8/2 よる 6時から 民踊の夕べ

- 湘南海岸公園
(雨天は8月9日)
■ 輪おどり
■ 炭抗節、七夕音頭
真室川音頭
神奈川おどり
大漁唄いこみ
北海盆唄、日本うれしや
昭和元禄ばやし 他



(主催・平塚市教育委員会 主管・平塚レクリエーション協会)

お互いの立場や気持も理解

新たに四学校が発足

平野氏平魚商組合長は標語で呼びかけ

8月24日から市民総合体育大会

[illegible]

朝日新聞社編

4巻 混血の暴亂
 11巻 米軍艦 誰のためのか
 12巻 時雨閣議 藩閥
 別1 無名氏政治 藩閥
 別2 歴聖帝とその6年闘争 藩閥
 別3 自由民権 藩閥
 アシヤの中の日本侵略 藩閥
 10巻 大陸政策、下の安全除 藩閥
 9巻 自治公使報告、下の安全除 藩閥
 8巻 自衛公使報告、下の安全除 藩閥
 7巻 海軍問題 藩閥
 6巻 海軍問題 藩閥
 5巻 海軍問題 藩閥
 4巻 海軍問題 藩閥
 3巻 海軍問題 藩閥
 2巻 海軍問題 藩閥
 1巻 海軍問題 藩閥
 10巻 大陸政策、下の安全除 藩閥
 9巻 自治公使報告、下の安全除 藩閥
 8巻 自衛公使報告、下の安全除 藩閥
 7巻 海軍問題 藩閥
 6巻 海軍問題 藩閥
 5巻 海軍問題 藩閥
 4巻 海軍問題 藩閥
 3巻 海軍問題 藩閥
 2巻 海軍問題 藩閥
 1巻 海軍問題 藩閥

[illegible]

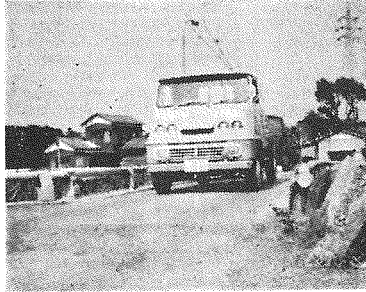
465



「これに気がりますよ」
読者から

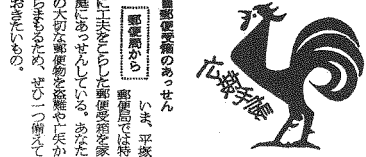
声のひろば

早急に東橋の拡幅を 危険にさらされる歩行者 いま歩道橋を検討中



このあづま橋は、道幅がせまいため、自動車
が通るたびに歩行者は危険を感じる

【意見】
東橋の拡幅は、歩行者の安全を第一に考えるべきである。現在の道幅は、自動車の通行に支障をきたしている。歩行者は、自動車の通行を待つ間に、危険にさらされている。早急に拡幅を検討し、歩行者の安全を確保するべきである。



【意見】
東橋の拡幅は、歩行者の安全を第一に考えるべきである。現在の道幅は、自動車の通行に支障をきたしている。歩行者は、自動車の通行を待つ間に、危険にさらされている。早急に拡幅を検討し、歩行者の安全を確保するべきである。

【意見】
東橋の拡幅は、歩行者の安全を第一に考えるべきである。現在の道幅は、自動車の通行に支障をきたしている。歩行者は、自動車の通行を待つ間に、危険にさらされている。早急に拡幅を検討し、歩行者の安全を確保するべきである。

推計人口	
人口総数	156,390人
世帯数	38,854世帯
市域面積	67.88km ²
人口密度	2,304人/km ²
前月比世帯増	225世帯
人口増	825人
市街地	75,391人 (19,747世帯)
野田	36,022人 (8,382世帯)
大倉	2,902人 (697世帯)
田島	11,934人 (3,056世帯)
島崎	2,171人 (462世帯)
崎田	2,341人 (534世帯)
旭	3,496人 (861世帯)
目黒	10,402人 (2,565世帯)
金	4,053人 (782世帯)
目黒	7,678人 (1,768世帯)
(44.6.1現在)	

【意見】
東橋の拡幅は、歩行者の安全を第一に考えるべきである。現在の道幅は、自動車の通行に支障をきたしている。歩行者は、自動車の通行を待つ間に、危険にさらされている。早急に拡幅を検討し、歩行者の安全を確保するべきである。

【意見】
東橋の拡幅は、歩行者の安全を第一に考えるべきである。現在の道幅は、自動車の通行に支障をきたしている。歩行者は、自動車の通行を待つ間に、危険にさらされている。早急に拡幅を検討し、歩行者の安全を確保するべきである。

【意見】
東橋の拡幅は、歩行者の安全を第一に考えるべきである。現在の道幅は、自動車の通行に支障をきたしている。歩行者は、自動車の通行を待つ間に、危険にさらされている。早急に拡幅を検討し、歩行者の安全を確保するべきである。

【意見】
東橋の拡幅は、歩行者の安全を第一に考えるべきである。現在の道幅は、自動車の通行に支障をきたしている。歩行者は、自動車の通行を待つ間に、危険にさらされている。早急に拡幅を検討し、歩行者の安全を確保するべきである。

献血

昭和四十四年度
平塚市献血所
七月一日現在
献血者数
二千六百六十八人
献血量
八十八万六千六百六十八cc
献血率
一〇・一七%

【意見】
東橋の拡幅は、歩行者の安全を第一に考えるべきである。現在の道幅は、自動車の通行に支障をきたしている。歩行者は、自動車の通行を待つ間に、危険にさらされている。早急に拡幅を検討し、歩行者の安全を確保するべきである。

【意見】
東橋の拡幅は、歩行者の安全を第一に考えるべきである。現在の道幅は、自動車の通行に支障をきたしている。歩行者は、自動車の通行を待つ間に、危険にさらされている。早急に拡幅を検討し、歩行者の安全を確保するべきである。

【意見】
東橋の拡幅は、歩行者の安全を第一に考えるべきである。現在の道幅は、自動車の通行に支障をきたしている。歩行者は、自動車の通行を待つ間に、危険にさらされている。早急に拡幅を検討し、歩行者の安全を確保するべきである。

【意見】
東橋の拡幅は、歩行者の安全を第一に考えるべきである。現在の道幅は、自動車の通行に支障をきたしている。歩行者は、自動車の通行を待つ間に、危険にさらされている。早急に拡幅を検討し、歩行者の安全を確保するべきである。

【意見】
東橋の拡幅は、歩行者の安全を第一に考えるべきである。現在の道幅は、自動車の通行に支障をきたしている。歩行者は、自動車の通行を待つ間に、危険にさらされている。早急に拡幅を検討し、歩行者の安全を確保するべきである。

【意見】
東橋の拡幅は、歩行者の安全を第一に考えるべきである。現在の道幅は、自動車の通行に支障をきたしている。歩行者は、自動車の通行を待つ間に、危険にさらされている。早急に拡幅を検討し、歩行者の安全を確保するべきである。

【意見】
東橋の拡幅は、歩行者の安全を第一に考えるべきである。現在の道幅は、自動車の通行に支障をきたしている。歩行者は、自動車の通行を待つ間に、危険にさらされている。早急に拡幅を検討し、歩行者の安全を確保するべきである。

【意見】
東橋の拡幅は、歩行者の安全を第一に考えるべきである。現在の道幅は、自動車の通行に支障をきたしている。歩行者は、自動車の通行を待つ間に、危険にさらされている。早急に拡幅を検討し、歩行者の安全を確保するべきである。

【意見】
東橋の拡幅は、歩行者の安全を第一に考えるべきである。現在の道幅は、自動車の通行に支障をきたしている。歩行者は、自動車の通行を待つ間に、危険にさらされている。早急に拡幅を検討し、歩行者の安全を確保するべきである。

よい青少年を たたえる運動

あなたの知る範囲に、よい行ないをした青少年(20才未満)がいたら氏名・年令・住所・学校または勤務先・推薦理由をお知らせください。推薦者は住所・氏名をかならず明記のこと、自限を問いません。広く市民の推薦をお待ちします。

平塚市青少年問題協議会
民生部青少年課内 (22)1700

毎月 12日 市民安全の日

みんなの願い交通安全
歩行者は正しい横断を
運転者は歩行者の保護を

飲酒運転を絶滅しよう

馬入の石垣

高橋 慎吾
天保時代(1830-44)鎌倉幕府
馬入村の福原平太という人が
相模国内における徳川家康の遺跡
などを築き大成した大豪族である
が、そのなかで、長谷川重隆の
築に成る馬入村徳川家康の、面
白い図がはいっていた。
馬入村(平塚市馬入)の真言
宗蓮光寺ではいつの頃からか境内
に東照宮をまつておいたの
でその社を中心に附近一帯を写
生したもののがこの図である。
これを見ると渡頭附近に竊に
馬がたちならんでいる。そのひ
と、蓮光寺大門の東側に東照宮
に面してややひろくんだ商家
がみえる。ここは馬入村247番
地で、明らかに杉山久五郎の屋
敷であり住居であり店舗である
ことがわかる。
杉山久五郎(1007-1882)は
ここで大きく家業を営んでい
たのである。店舗の図をよくみ
ると商品や人物などが描かれて
いるばかりでなく店の前に灯